

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)神奈川県座間市相模が丘計画新築工事		階数	地上15F
建設地	神奈川県座間市相模が丘5丁目440-2、440-15、440-25、440-26		構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域		平均居住人員	278 人
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定		評価の実施日	2024年11月5日
敷地面積	1,168 m ²		作成者	株式会社 鍛冶田工務店 一級建築士事務所
建築面積	386 m ²		確認日	2024年11月5日
延床面積	4,666 m ²		確認者	株式会社 鍛冶田工務店 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p> <p>環境効率チャート</p>	<p>標準計算</p> <p>① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	高効率の設備を設置し環境負荷低減に努めた。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率を77%とした。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS採用)	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される